

元気企業

紹介！

短期集中連載 Vol.5

てるまる25
佐伯市鶴見



地元の住民や釣り好きの方が海洋散骨を希望することが多いという。

佐伯市鶴見で長年、瀬渡しをおこなっている『てるまる25』。
今年から海洋散骨サービスを提供している。

豊後水道の豊かな天然の漁場と美しい景観に囲まれた、佐伯市あまべエリア。この土地には新鮮な魚介や自然の恵みから生まれた魅力溢れる商品が数多くあります。ここ、あまべの地から世界に羽ばたこうと奮闘する元気企業を紹介します。

「海に、還る」を叶える船

墓問題の増加にともない、お墓にとられない形の供養を選択する家族が増えてきた。そんな状況から注目されつつある「自然葬」のひとつ、海洋散骨をおこなっているのが佐伯市鶴見にある『てるまる25』だ。もともとは、釣り人を漁場に案内する「瀬渡し」をおこなう遊漁船業者。船長の神崎さんが30年以上の経験を生かし、釣りたい魚種によって天候や潮の状態を見極めながら、漁場まで安全に

粉末状に加工した遺骨を、船上から散骨する海洋散骨1柱6万円～。ペットの散骨の需要も高まっているそう。



送迎するサービスを提供してきた。海洋散骨を手がけようと思ったきっかけは、義理の父。数年前に他界した父は生前、海での散骨を希望していた。「父の夢を実現してあげたい」「そんな思いから、新たな事業への挑戦を決めたという。海洋散骨は現在、散骨する場所や遺骨の処理方法など、法律で細かく厳しく定められている。そこ



メッセージが記せる折り鶴と花は、水に溶ける紙やライスペーパーでつくられている。

漁師や潜りの経験もある、地形を熟知し潮をみることに長けた船長が安全に送迎してくれる。



所を正確に記録した「海洋散骨証明書」をご遺族にお渡ししている。証明書には、同じ場所に戻ってお参りできるよう、緯度・経度や水温まで詳細に記載している。オプションでつけられる、散骨時に添える水溶性の折り鶴やおくり花などのアイテム、周辺のクルージングなどは、お別れのセレモニーをより思い出深いものとしてくれると好評だ。これまでに請け負った依頼の多くは東京からで、3世代で訪れる家族もいた。



奉送に関する知識や法規・マナー、船舶や海洋の知識、自然環境への影響、遺族へのサポートなど、様々な基礎知識を持ち合わせた専門家。

で妻の優美さんは、専門的な知識と技術を身につけるため、「日本海洋散骨協会」の海洋散骨アドバイザー資格を取得。さらに、北海道知床で起こった事故以降、旅客船に関する規定が改正されたことを受け、安全管理など船舶に関する国家資格も取得した。お客さまが安心して利用できるよう、法律に基づき、環境と安全に配慮したサービスを提供している。例えば遺骨は、骨壺に入った状態のままでは散骨ができないので粉末状に加工。散骨後は、散骨の日時や場

また、ご家族に代わって当社が散骨を行う「代行散骨」サービスも用意している。遠方にお住まいの方でも、ご遺骨を郵送していただくだけで海へのご供養が可能。その利便性の高さから、非常に多くの方に注目されている。粉骨のみや遺骨のクリーニングの依頼にも応じており、墓じまいや建て直しの際に利用されるケースもあるという。社会問題の解決、地域経済の発展にもつながる同社の取り組みは、「佐伯市あまべ商工会」

メジナ、イサキ、アジ、サバなど豊富な魚種に恵まれた海域。



瀬渡しと海洋散骨を担う「てるまる25」の船。12名乗船可能。



てるまる25

佐伯市鶴見町鶴見大字丹賀浦

☎0972-34-8546

📠090-2716-8535



<https://teru25.jp/>



LINEアカウント